

京都大学埋蔵文化財調査報告 IV

—京都大学病院構内遺跡の調査—

京都大学埋蔵文化財研究センター

序

本調査報告は、埋蔵文化財研究センターが1976年度以来京都大学病院構内遺跡においておこなってきた調査と研究をまとめたものである。14年間に発掘・試掘調査をおこなった地点は21個所に達し、病院構内の各所に及んでいる。各調査の内容についてはそれぞれの年度の調査研究年報で報告しているが、本調査報告ではそれらの調査結果を総合するとともに、各調査で得られた特色のある遺構・遺物の考古学的な分析、文献資料との比較検討をおこなった。

高野川、鴨川系流路が氾濫と転変を繰り返すこの地一帯においては、自然環境の変化と結びついた人びとの営みの移り変わりを強く見いだすことができる。はやく縄文時代には生活がおこなわれていたが、その後ながい空白の時期があって、生活の地として安定してはいなかった。古代末になって白河に院の御所や御堂が設けられると、この一帯は「京白河」とよばれるまでに市街地が発達した。当時の遺構・遺物も増加するが、大小の河川の氾濫は依然つづき、やがて、院政の衰退後に街区も衰亡し耕地化した。

一方で古代から中世にかけて埴物生産が継続的におこなわれた理由の一つは、河川の堆積物を埴物土として利用したことに求められる。さらに中世から近世にかけては、大規模な土の採取がおこなわれており、環境を利用した人々の姿をもうかがうことができる。このような病院構内遺跡の位置する鴨東の地の歴史的な変遷の復原と、調査にもとづく分析を試みたのが本書である。

本調査報告を作成するにあたり、学内、学外の多くの関係者の方々に御指導、御助言をいただいたこと、とりわけ本学の施設部、医学部附属病院などの関係者各位にたいし、あらためて謝意を表したい。今後とも変わらない御協力のほどをおねがいする次第である。

1991年1月

京都大学埋蔵文化財研究センター長

西川幸治

例 言

- 1 本報告書は、京都大学病院構内で1976年度から1989年度までに実施した発掘調査の成果を総括し、京都大学埋蔵文化財研究センターにおける研究成果を報告するものであり、京都大学埋蔵文化財調査報告の第4冊にあたる。
- 2 国土座標にしたがって一辺50mの方形の地区割りをして、遺跡の位置を表示した。
- 3 層位と遺構の位置については、国土座標第Ⅵ座標系($x = -108,000$ $y = -20,000$)が($X = 2,000$ $Y = 2,000$)となる京都大学構内座標によって表示した。
- 4 遺構の略号は、奈良国立文化財研究所の方式にしたがって、井戸：SE，土坑：SKのように表示した。
- 5 第3章と第5章の掲載遺物についてはローマ数字を冠して通し番号を1から付した。この遺物番号は、本文、実測図、写真を通して表示を統一した。
I：第3章関係遺物，II：第5章関係遺物
- 6 原則として、遺物の実測図は縮尺1/4，遺物の写真は約1/2に統一した。他の縮尺のもの、それぞれに縮尺を明記した。
- 7 参考文献は、本文中に、〔著者名 発表年〕の形式で表わし、各章末に一覧を付した。
- 8 本文の執筆者名は各章の初めに記した。
- 9 編集は西川幸治の指導のもとに森下章司が担当し、清水芳裕，五十川伸矢，浜崎一志，千葉豊，西川恵美子，石田由利子，合田敦子，エフナコ八重子，中田敬子が協力した。

京都大学埋蔵文化財調査報告 IV

目 次

第1章 病院構内遺跡調査の経過と成果	3
1 調査の経過	3
2 遺跡の環境	6
3 調査の成果	9
第2章 遺跡の形成と地形の変化	19
1 遺跡の立地と地形環境	19
2 高野川系旧流路と病院構内地域の開発	22
3 粘土層の形成	24
4 粘土層の堆積と周辺の地形	25
第3章 病院構内の先史時代遺跡	29
1 はじめに	29
2 遺物の出土状況と編年的位置	29
3 縄文後期前半土器の様相	38
4 比叡山西南麓における縄文時代遺跡	42
第4章 白河の条坊地割	47
1 はじめに	47
2 白河御堂の遺構	48
3 京都大学構内で検出した遺構	53
4 造営尺と方位	56
5 おわりに	58

第5章 中世白河の鑄造工房	61
1 はじめに	61
2 中世白河の鑄造工人の生産技術	62
3 中世京都の鑄造遺跡	68
4 文献にみえる京都の鑄造工房	71
5 中世京都の鑄物生産の変転	74
第6章 土取りの歴史的変遷	79
1 はじめに	79
2 中世・近世の土取り遺跡	80
3 土の用途	83
4 土取りの歴史的変遷	87

図版目次

病院構内遺跡調査の経過と成果	第1章末
図版1 京都大学病院構内遺跡全景(南から)	
遺跡の形成と地形の変化	第2章末
図版2 黄色砂の分布	
病院構内の先史時代遺跡	第3章末
図版3 病院構内A H19区縄文土器出土状況	
図版4 縄文後期の土器	
図版5 縄文早期・前期・中期・後期の土器	
図版6 縄文後期・晩期・弥生前期の土器	
白河の条坊地割	第4章末
図版7 白河条坊の復原案	
中世白河の鑄造工房	第5章末
図版8 1 鑄型	
2 坩堝, 鞆羽口, 小炉壁	
土取りの歴史の変遷	第6章末
図版9 1 医学部構内A N20区 土取り穴(南から)	
2 医学部構内A L20区 土取り穴(南から)	
3 病院構内A J18区 土取り穴(南から)	

挿 図 目 次

病院構内遺跡調査の経過と成果		白河の条坊地割	
図1	京都大学病院構内遺跡の位置… 2	図21	法勝寺の寺域の推定図…49
図2	調査区の位置… 4	図22	尊勝寺の寺域の推定図…50
図3	江戸時代末の東山… 8	図23	白河南殿と宝荘殿院の推定図…51
図4	病院構内遺跡の層位…10・11	図24	宝荘殿院用水事…52
図5	病院構内遺跡の遺構…12・13	図25	白河の条坊の南北路…54
図6	福勝院の九輪阿弥陀堂…14	図26	京都大学構内検出の遺構…55
図7	SK3の墨書土器出土状況…15	中世白河の鑄造工房	
図8	蓮月焼…16	図27	病院構内A J19区出土の 鑄型・埴塼・羽口…63
遺跡の形成と地形の変化		図28	京都大学構内の鑄造遺跡…63
図9	病院構内周辺の地形…19	図29	鏡土形と引形ぶんまわし…64
図10	高野川系旧流路の攻撃面…21	図30	鏡の粗型…65
図11	白川扇状地の復原…23	図31	ル壺と屏風…66
図12	病院構内A J18区の粘土層…25	図32	医学部構内A L20区出土 の小炉壁…67
病院構内の先史時代遺跡		図33	小炉壁と使用状況の復原…67
図13	縄文早期・前期・ 中期・後期の土器…31	図34	京都の鑄造遺跡…69
図14	縄文後期の土器(1)…32	土取りの歴史的変遷	
図15	縄文後期の土器(2)…33	図35	京都大学構内の 土取り遺跡…80
図16	縄文後期の土器(3)…35	図36	京都大学構内の 土取り遺構…81
図17	縄文後期の土器(4)…36	図37	京都周辺の土の産地…85
図18	縄文後期・晩期・ 弥生前期の土器…37	図38	紙屑買と砂土売…89
図19	北白川追分町遺跡出土土器…41		
図20	比叡山西南麓の縄文時代遺跡…45		

1991年3月30日発行

京都大学埋蔵文化財調査報告Ⅳ

編 集 行 京都大学埋蔵文化財研究センター
京都市左京区吉田本町
印 刷 本 山代印刷株式会社
京都市上京区寺之内通小川西入

正 誤 表
京都大学埋蔵文化財調査報告Ⅳ

頁	行	誤	正
3	12	白川北殿	白河北殿
26	24	ことがきる	ことができる
73	27	青銅鎮物	青銅鑄物
91	3	わち、	すなわち、